

上卷 目次

発刊のことば

凡例

第一編 原始

第一章 先土器時代 3

 第一節 先土器時代の概説 3

 第二節 先土器時代の生活と文化 7

 第三節 長谷村内の先土器時代の遺跡 10

第二章 繩文時代

 第一節 繩文文化の概説 11

 第二節 繩文時代の発展（繩文土器の変遷を中心にして） 13

 第三節 繩文時代の集落の展開 11

 第四節 繩文時代の生業に關係した道具の分化 36

 第五節 繩文時代の信仰 32

 第六節 長谷村内の主な繩文時代の遺跡 44

第三章 弥生時代

 第一節 弥生文化の概説 48

48

48

47

44

36

32

13

11

11

10

7

3

3

第二節 稲作の始まり	49
第三節 住居と集落	54
第四節 弥生土器の移り変わり	55
第五節 長谷村内の主な弥生時代の遺跡	56

第二編 古代

第一章 古墳時代の成立と生活

59

第一節 大和政権の成立と古墳の発生	59
第二節 古墳の変遷	61
第三節 長谷の古墳時代の自然的環境	68
第四節 古墳時代のむらの生活と用具	69
第五節 長谷村内の主な古墳時代の遺跡	73

第二章 律令制と長谷

74

第一節 律令制の流れ

74

第二節 東山道と信濃及び長谷とのかかわり

85

第三章 奈良・平安時代の長谷

91

第一節 律令体制の崩壊

91

第二節 信濃の古代牧と長谷との関係

92

第三節 古代の長谷の生活

96

第三編 中世

はじめに

第一章 鎌倉時代

第一節 入野谷郷中世へのいざない

- 一 非持“檢校塚”について 104
二 浦 平家落人部落 伝承について 109

第二節 中世前期の伊那・入野谷

- 一 荘園期の伊那 121
二 上伊那地域諸族の分布 121

三 平氏全盛期

四 源平争乱期

五 鎌倉政権期

六 鎌倉時代の入野谷

第二章 南北朝時代

第一節 南北朝時代事歴

第二節 中先代の乱

一 発生の理由

二 中先代の乱の前ぶれ

三 北条時行の挙兵と鎌倉進行

第三節 大徳王寺城の戦

一 中先代の乱以後の北条時行の経路

二 南朝方起死回生の作戦と宗良親王の動向

三 大徳王寺城の戦い前後の諸情勢

四 大徳王寺城挙兵と戦況の推移

五 援軍の有無

六 宗良親王参戦の有無

七 開落の意義

八 その後の北条時行

九 大徳王寺城位置付けの条件

第四節 南朝方伊那谷最後の光芒

一 宗良親王吉野へ帰還後の足どり

二 新田氏と宗良親王のかかわり

三 新田一族伊那谷潜行

四 南朝方大河原の衰退と入野谷長谷へ移動

五 宗良親王御尊像胎内文書と同親王並びに新田一族集団の終焉

六 胎内文書に現われる氏族

七 新田助成無縁亡靈等（上伊那郡長谷村溝口常福寺安置位牌）

第三章 室町時代

第一節 大塔合戦と入野谷長谷村

第二節 溝口氏（小笠原）入野谷支配

第三節 尹良親王と長谷村

331

第四節 小笠原氏分裂による大黒塙合戦と長谷村

335

大黒塙合戦の原因とその波紋

336

第四章 長谷村の城塞

341

第一節 長谷村の城

341

第二節 長谷村の館・砦・狼煙台

386

第五章 戰国時代

391

第一節 入野谷諸族の分布

391

第二節 武田氏の諭訪・伊那進出と経略

391

一 武田信虎の諭訪侵入

398

二 武田晴信（信玄）の侵入と高遠氏の滅亡

399

三 川中島の戦

401

四 武田氏の高遠城支配

401

五 高遠城落城と武田氏の滅亡

407

第三節 入野谷諸族の動き

416

一 武田氏の侵入と入野谷諸族

417

二 青柳嶺の戦

422

三 保科氏の高遠城支配と高遠氏滅亡

412

四 神ノ峯城の戦

428

五 八人塚に祀られる伊那の将士

427

六 川中島の戦いへの参戦 432

七 織田氏の高遠城攻略における入野谷郷 440

第六章 中世の社会経済

第一節 中世社会の構造

- 一 領民の負担 444
- 二 郷村制の発達 445
- 三 禁制に見る社会の実態 446

第二節 産業

- 一 農業 449
- 二 牧畜 450
- 三 林業 451
- 四 狩猟・川漁・山菜・果物採集 452
- 五 商工業 452

第三節 交通

- 一 南北 465
- 二 甲州方面 465

第七章 中世の生活・文化

第一節 中世の生活・文化概観

第二節 中世の住民の衣食住

- 一 衣服 468

二 食 制

三 住 居

第三節 日常生活

- 一 日常生活
- 二 風俗・習慣
- 三 娯楽・遊び

第四節 信 仰

- 一 諏訪神社信仰
- 二 村内の中世以前創建の神社
- 三 村内の中世以前創建の仏教寺院
- 四 中世仏教の推移

第五節 建築・石造物

一 建 築

二 石 造 物

第六節 中世の文学

一 はじめに

二 宗良親王

三 親王の和歌

四 宗良親王の信州入り

五 『李花集』の歌の訳注

第八章 近世への歩み

第一節 織田・豊臣時代の伊那・高遠

- 一 織田信長の支配 498
- 二 徳川家康の支配 498
- 三 豊臣秀吉の支配 498

第二節 徳川時代初期の伊那経路

- 一 保科氏の支配 501
- 二 鳥居氏の支配 501

第三節 近世初期の長谷

- 一 織豊時代から徳川初期の時代 503
- 二 保科氏 最上転封と長谷 502
- 三 鳥居氏時代の長谷 503